大阪鳥取県人会報

発　　行：大阪鳥取県人会
発行責任者：川島　清春
編集責任者：上口　敦弘
印　　刷：㈱新風書房

〈題字〉高野泰明前名誉会長　　第104号　令和５年２月15日

◆事務局連絡先　〒630-8101　奈良市青山２丁目2-14　髙塚　徹
TEL･FAX 0742-23-9541　E-mail:takatsuka@citrus.ocn.ne.jp

令和5年 迎春

３年ぶりに「新春互礼会」を開催

１月19日（木）「アサヒスーパードライ梅田店」で大阪鳥取県人会の「新春互礼会」が３年ぶりに開催され、人数制限の中29名が参加しました。

18時に、川島会長が「コロナを克服し新時代を切り開こう」と「開会挨拶」、次いで前会長の福山相談役が「高齢のため会合出席は最後にしたい」と述べて「乾杯の音頭」をとりました。懇親会では、新入会員（２名）の「自己紹介」や、催事担当の河上総括幹事の「ミニ健康講座」などを挟んで、久々の交流が終始和やかに行われ、前副会長の米澤顧問の「中締め」の後、記念写真を撮って20時に閉会しました。

新時代に対応した関西県人会を

大阪鳥取県人会　会長
川島　清春

皆様には新年をお迎えになり、心よりお祝い申しあげます。昨年も「コロナウィルス感染症」は限りなく続いて拡大してきました。しかし「コロナウィルス感染症」はもう限界です。今の捉え方として「新型風邪」がふさわしい表現ではなかろうかと思っています。「重症者リスク」のある人が誰一人として残されないよう、「命と健康を守る体制強化」を進めましょう。

また、「ロシアとウクライナの戦い」は終わることなく続いて、世界中に燃料をはじめとした「物価高」が吹き荒れています。「ロシアとウクライナの戦い」が早く収まってほしいものです。

そのような状況下にありますが、それぞれの歴史と背景があって関西のあちこちにある「県人会」を一つにまとめようとする構想に、昨年から着手しております。

「東京鳥取県人会」は支部制を敷かず、関東一円を「一つの本部」でまとめておられます。実態をお聴きしようと、本年の年初早々に「東京鳥取県人会」を訪ねてきました。その結果を、先ずは「役員･幹事会」で発表しましたが、一つの「関西鳥取県人会」にまとめる活動を今年から実行してまいります。

「少子高齢化」による会員の減少は、関西のあちこちにある県人会でも共通した悩みの種です。私も過去のボランティア活動の「PTA活動」や「ボーイスカウト運動」でも、「人員減」ではひどい目にあってきました。

今こそ「ピンチをチャンス」として、「コロナ禍」を機にした「感染症対策強化」のように、「新時代への対応」に拍車をかけようではありませんか。

ＨＰの「みんなの広場」へ投稿ください！

会員相互の交流を深めるため、皆さまの「私の近況」を開示しています。ネットで「大阪鳥取県人会」HPを開いて「みんなの広場」をクリック、所定のフォーマットで投稿をお願いします。　（広報担当）

ふるさと情報　**◆全国高校駅伝**　12月25日（日）、京都で行われた高校駅伝女子は、「長野東高」が初優勝、鳥取県勢は「鳥取城北高」が41位（同校の最高順位）でフィニッシュ、男子は「倉敷高」が大会新記録で優勝、鳥取県代表の「八頭高」は34位と健闘しました。

「兎年」を迎えるにあたって

●年頭メッセージ●2023

鳥取県関西本部　本部長
高務　裕子

大阪鳥取県人会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、我々の切なる願いも空しく、新型コロナウイルス感染症の第７波、第８波が押し寄せました。鳥取県は全国に先駆けて、全数把握の見直しや陽性者コンタクトセンターの設置など、重症化リスクのある方に重点を置きながら、軽症・無症状の患者にも迅速に支援を行う体制を整えて、感染を抑制し県民の皆様の命を守ることを最優先に取り組んでまいりました。

その結果、全国最少人口の鳥取県は、全国最多人口の東京都に比べて26倍の人口差がありますが、新型コロナウイルス感染症の累積感染者数は鳥取105,442人／東京3,901,530人（鳥取県の37倍）、累積死者数は鳥取153人／東京6,664人（鳥取県の44倍）と、社会環境の違いがありますので単純比較はできませんが、それでも鳥取県はがんばったと言えるのではないかと思います。（令和４年12月26日時点の時事通信社公表値）

一方で、本年は兎年。コロナを乗り越え、経済・社会活動を本格的に軌道に乗せ、飛躍する年です。

春には、岩美道路が開通して鳥取市福部から兵庫県新温泉町西部の居組地区までが高規格道路で結ばれますし、令和元年秋から運休が続く米子空港の国際定期便「米子・ソウル線」も再開に向けて調整中です。秋には、「弥生人そっくりさん＝青谷（あおや）上寺朗（かみじろう）」で全国の話題となった「青谷かみじち史跡公園」がオープンします。

更に、令和６年秋には「第36回全国健康福祉祭（ねんりんピック）鳥取大会」の開催、令和７年春には鳥取県立美術館（倉吉市駄経寺町）の開館、「大阪・関西万博」への出展などの大型イベントも控えています。

関西本部も、関西の皆様とのネットワークを大切にしながら、情報発信・観光誘客・販路開拓・企業誘致・関係人口拡大に努めてまいります。

結びに、大阪鳥取県人会の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げるとともに、本年こそは皆様と笑顔で色々なお話ができることを楽しみにしております。

関西倉吉中部会

３年ぶりに総会・忘年会を開催

令和４年度 関西倉吉・中部会の「総会・忘年会」が12月24日（クリスマスイブ）に、アサヒスーパードライ梅田店で開催されました。

総会は、松田会長の「開会挨拶」でスタート、鳥取県関西本部長 高務様、大阪・神戸鳥取県人会副会長 上口様に「祝辞」を頂いた後、安田幹事長より「会計報告」がなされました。

更に今回は、前倉吉市関西事務所長 谷田様と、倉吉観光マイス協会 塩川様から、倉吉中部地区の観光の現状についての「講演」を頂きました。

その中で、「ウォーホルの箱」で話題になった「鳥取県立美術館」が令和７年春に、現在のラグビー場跡地にオープンすることや、「旧国鉄倉吉線廃線跡」が日本一美しい廃線跡として関西地方からの観光客が増加していることなどのご報告があり。更に「関金温泉の活性化」に取り組んでいきたいとのことでした。

総会・講演の後、福山顧問による「乾杯の音頭」で「忘年会」がスタートしました。

今回は新型コロナ禍の中、39名の申し込みがあり、最終的には33名の参加でしたが、３年ぶりに開催出来て話が弾み、短時間でしたが参加者の「自己紹介」もできて楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

また塩川様より、懐かしい「打吹公園団子」のお土産を頂き、有難うございました。

最後に安田幹事長から、令和５年春の「花見会」を鳥取県中部地区にて開催したいとの提案があり、今後検討して結果を早めにお知らせしたいとのことでした。河本純様の「中締め」で総会・忘年会は全て終了、希望者は二次会へと移動されました。（幹事長 安田 壽昭 記）

○追伸

今回ご参加の「林家笑丸様」は、春の花見会にも参加頂きました。天満天神「繁昌亭」に出演されている落語家さんです。どなたも楽しめる工夫を凝らした本格的な落語と、笑丸様ならではの多彩な芸を楽しめます。皆様の応援の程、よろしくお願い致します。

林家笑丸様

―すべてのお客様に最高のサービスを―
日交 日本交通株式會社
https://nihonkotsu.co.jp
《お気軽にお問合わせ下さい》
高速バス　TEL　06-6576-1181　E-mail　h-bus@nihonkotsu.co.jp
タクシー　TEL　0570-07-2525　E-mail　taxi.order@nihonkotsu.co.jp
日交トラベル　TEL　06-6575-9820　E-mail　travel@nihonkotsu.co.jp

大山を歩こう♪
HOTEL DAISEN SHIROGANE ホテル大山しろがね
https://www.hotel-daisen.jp　ホテル大山しろがね　検索
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山136-2
TEL　0859-52-2211　E-mail　daisen@sakyu-daisen.jp
～大阪・神戸発の日交高速バスと宿泊をセットにしたプランもあります～

◆全国高校ラグビー　12月27日（火）花園ラグビー場で行われた　第102回 全国高校ラグビー大会１回戦に登場した鳥取県代表「倉吉東高」は「高鍋高」（宮崎）と対戦、善戦むなしくノートライに終わり0-66で敗退しました。

鳥取学出前講座について

振り返ってみると、2002年下期に発足し、17年間毎月継続実施してきた「鳥取学出前講座」ですが、2019年下期途中で、コロナのために中断を余儀なくされました。その後もたびたび計画・開講しては数か月で中断することを繰返してきました。当期37期は10月から１月まで、会場の人数制限がある中、なんとか４か月継続して開講しています。コロナ感染者の漸増は気になりますが、３月まで継続実施できることを願っています。

また、第38期の講座開講について、テーマ・講師を調整中です。

「鳥取学出前講座」今後の予定

月　日	テ　ー　マ	講　　師
2月16日㈭	日本初女性外交官　山根敏子（やまねとしこ）	鳥取市歴史博物館（やまびこ館） 主幹（学芸員）　横山　展宏 氏
3月16日㈭	紙芝居でもっと知ろう「大山さん」～三山（大山寺・延暦寺・金山寺）を復興した大山の名僧「豪円和尚」～	紙芝居プロジェクト伯耆・伝承隊 副隊長　吉島　潤承 氏

第37期の紙上紹介

10月　鳥取県における県立高校の特色化・魅力化に係る取組について　福本哲也 氏

少子化が進む中、鳥取県でも県立高校の定員は現在約５千人、1998年の約７千人から３割減少し、学校の運営に大きな影響を与えている。県は高校の魅力化・特色化により、生徒の他県への流失防止と県外からの受入れに取り組んでいる。ポイントは、生徒の自主性尊重と地域との連携。

学際領域に関する学科の設置、ICT機器を使ったスマート農業の実習、街並みの再現や遺跡発掘への参加など、学んだことを地域にいかす授業を行っている。地域の自治体や住民は、会議体を設けて学校を支援する具体的な活動を進めている。こうした学びの記憶が、県内で働く若い人たちの増加にもつながってほしい。

（鳥取県教育委員会事務局 高等学校課高校教育企画室 室長）

11月　未来をつくる美術館・鳥取県立美術館　梅田雅彦 氏

従来、県の保有する美術品コレクションは、県立博物館内の美術分野として収蔵されていたが、建物･設備面で老朽化、収蔵庫の狭隘化が課題だった。新たに鳥取県立美術館整備の構想が検討され、民間の活力やノウハウも取り入れ理想的な美術館を新設し、さらにその運用についても官民共同で取組むことが決まっている。場所は倉吉市駄経寺町内、敷地面積 約18,000㎡に地上３階建、延べ床面積 10,000㎡。新美術館の中心となる機能は、収蔵、調査研究、展示、館内外での教育普及、地域･学校･県民との連携･協力として充実させる。令和７年春の開館･運営開始を目指している。

（鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局長）

12月　「日本にかくれなき名山」に築かれた城・鳥取城の歴史と未来　細田隆博 氏

鳥取城は、16世紀中頃に因幡の守護山名氏が築城したことに始まる。その後毛利氏の傘下に入り、羽柴秀吉の中国攻めのときには壮絶な籠城戦が展開された。江戸期に入ると姫路城主の池田氏が鳥取入りし、因幡伯耆32万石の政庁として明治まで続いた。さらに、政府による建物の解体や昭和の大地震時の被災があったが、城は各時代の城郭形態の変化を見ることができ、「城郭の博物館」と言われている。保存・復元事業は、2006年から30年をかけて石垣、登城ルート、大手門、櫓を復元するもので、講師の鳥取城に対する並々ならぬ情熱を感じる講演だった。

（鳥取市教育委員会事務局 文化財課 主任兼文化財専門員）

1月　人口最少県で廃業寸前のどぶろく醸造所を事業承継　遠藤みさと 氏

遠藤さんは、まだ25歳だが西伯郡伯耆町にある「どぶろく上代（かみだい）」の社長である。上代は、地元の酒米を使いどぶろくや甘酒を製造販売する会社。後継者がなく廃業寸前になったところに、氏が社長として名乗りをあげたのである。古い企業を第三者が継承するモデルケースになりたい、との思いがあったという。

学生時代のタピオカ専門店の開業、マルタ共和国への語学留学、大阪からのUターン、社長就任とその経歴は挑戦の連続である。

講演の中では、主に自社の醸造所を中心にした地域興し、若い世代のキャリア支援、県内企業の紹介など、今後の目標や自分の生き方について熱く語られた。

（株式会社上代 代表取締役社長）

地域の夢、お客様の夢をかなえる
創造的なベストバンクを目指して
山陰合同銀行

BARCOS
美しく、豊かに暮らす。
ラウンド型
L字型
倉吉から世界へ
愛される商品を
0120-574-747　バルコス　検索

◆**全国高校サッカー**　昨年ベスト4に進出した鳥取県代表「米子北」は、12月29日等々力陸上競技場の１回戦で「松本国際」（長野）に2－1で勝利し２回戦に進出しましたが、強豪「日大藤沢高」（神奈川）と対戦、大接戦の末1－2で敗退しました。

みんな

コロナ禍で県人会活動が制限される中、会報でもなんとか交流の輪を広げようと「みんなの広場」を開設し、皆さまにご寄稿をお願いしましたところ、多くのコメントをお寄せ頂きました。104号と105号（７月15日発行）に分けて掲載しますのでご高覧ください。

寄稿者名の後の（　　　）内は出身地

◇ 私の健康法 ◇

◆朝６時出発 徒歩30分、公園でラジオ体操、40分歩いて自宅へ、毎朝 ご飯とみそ汁を食べて、８時より畑へ、10時頃帰宅。健康を保っています。

神谷　光子さん（伯耆町･旧溝口町）

◆「新川さん、これは鳥取県発祥のスポーツですよ」と言われて、20年ほど前に始めたのが「グラウンド･ゴルフ」です。

私のクラブは30名の会員がおり、大阪市内でもかなり広い公園の樹木の下と隣接する野球場２面を要する場所で、週３回交互にやっています。

この競技は東伯郡泊村（当時）の教育委員会が文部省の公募に応じて採用され、全国に普及しました。当時、アシックスの役員であった神戸鳥取県人会会長の神崎和則先輩（泊出身）がボールや用具などの開発に関わっています。

湯梨浜町泊の「潮風の丘」と言う専門グラウンドでは、全国大会はおろか世界大会も開催されています。

このグラウンド・ゴルフと、公園愛護会としての樹木の手入れの土木作業？ が私の健康法です。

新川　貞敏さん（湯梨浜町･旧羽合町）

◆登山を通じて早寝・早起きの習慣が身につき、日頃から歩く（通勤）ことで、特別なトレーニングはせず、エレベーター・エスカレーターも使わず、２回目の百名山制覇を目指しています。　**入江　淳さん**（琴浦町）

◆私の健康法は「ウォーキング」。

毎朝雨天の日を除き、５時過ぎより自宅周辺を約50分、5,000歩を目途にウォーキングをする。

少し汗ばみ、食欲は増し、腸の活性化に役立つようで、一日快適に過ごしている。

三谷　節雄さん（北栄町）

◆「私の健康法」は、

①食　　事⇨発酵食品をとるように努力

②運　　動⇨毎朝ウォーキング･TV体操･ヨガ

③生活習慣⇨早起き（４時台）早寝（10時台）

しかし一向に痩せない（食べ過ぎ、飲み過ぎ？）

上記３つにプラスして「学び」が大きなウエイトを占めている。

シニアの大学と言われるONC（高齢者大学）学び、２年前から企画に関わり「俳句」と「城探訪」をはじめた。「鳥取城」は100名城、続100名城である「米子城」に登り、大山を眺めたい。

石塚　美恵子さん（米子市）

◆私は風呂が好きなので、週３回フィットネスのサウナと風呂（天然温泉）に通っており、ほかに週３回ウォーキングで、大阪城公園か中の島公園を、１時間程度歩いています。　**松田　健一さん**（倉吉市）

◆鳥取大学の先生に聞いた健康法です。

県人会の皆様にだけこっそりお教えします。

①ガンの予防法

早寝早起き。規則正しい食事。脂こいものを食べない。

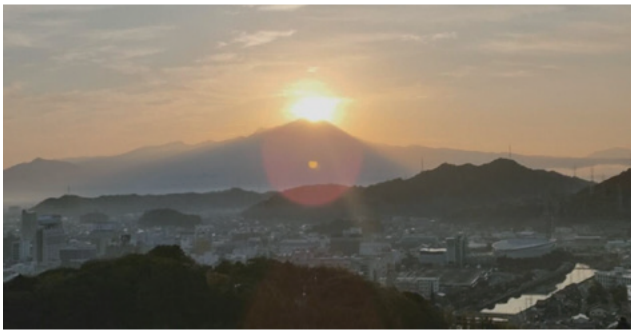
②アルツハイマーの予防法

生水は飲まない。いらない薬は飲まない。

小さい頃親に言われた事と同じですね。

理由をお知りになりたい方は筆者まで。

松井　孝一さん（鳥取市）



ダイヤモンド大山

◆**都道府県対抗**　1月15日（日）都大路を駆けた全国女子駅伝で、鳥取県代表は1区で26位でしたが、次第に順位を下げ最終41位に終わりました。1月22日（日）広島での全国男子駅伝では、３区で18回目出場の岡本選手が10人抜きで23位、34位ゴールに貢献しました。

の広場

◇ コロナが収束したら ◇

◆イタリアへ行って、現地の生ハムとチーズで、ワインを飲みたいと考えています。

澤　志郎さん（岩美町）

◆会員が一堂に会することが出来る日が待ち遠しいです。往時の思い出を語り合う場が欲しいものです。

三谷　正道さん（倉吉市）

◆「鳥取学出前講座」に出席します。
鳥取からの講師もよいですが、鳥取出身で成功されている事業家の講演もよいと思います。

高垣　真治さん（岩美町）

◆長年働いてきたご褒美として、妻とともに国内・海外旅行に、懐具合と相談しながら行きたいと思っています。

松本　順一さん（倉吉市）

◆コロナが収束してやりたいことは、入院している義理の母への見舞です。
９月に入会させて頂いたにも拘らず、新入会員に会報の掲載について問い合わせを頂き、有難うございました。お礼申し上げます。

井上　剛さん（枚方市）

◇ ふるさと自慢・自由記載 ◇

◆白いアケビの実に舌つづみ

アケビ

一昨年でしたか、奈良の友人が「こんなのが実った」と言って、アケビの割れた白い実を持参してくれました。一見薩摩芋のような実に、乳白色の甘い実があり、二つに破れた中から出て来ました。
それ以前は戦後間もなく、郷里にいる時食べたぐらいですから、本当に久しぶりに巡り合ったようです。食に飢えていた時代を思い起こしました。

福山　琢磨さん（倉吉市）

◆伯耆ネギ

伯耆ネギ

例年年の暮れに、米子から白ねぎが届く。専用段ボールに行儀よく並んでいる姿は、さすが名産と呼ばれるにふさわしい。
すき焼きなど鍋物にいれて食することも多いが、フライパンや網でねぎそのものを焼き、味噌や醤油などで食するのもオツなものです。

本田　元子さん（米子市）

◆今年３月で100歳、もう一人で出歩けないので、どこへ行くのも難しいですが、出来れば家の風呂（松崎）に入りたいものです。
私は毎日体操をやっています。皆さんの健康を祈ります。

山本　幸男さん（東郷町）

◆郷土の桜

久松公園のさくら

毎年春になると思い起こすのが「鳥取の桜」です。
県内の多くの花見スポットの中でも「桜名所100選」に選ばれた「打吹公園」と「久松公園」の桜がとても見事です。
県中部の「打吹公園」は、明治時代に開園した山陰随一の桜の名所で、約4,000本の桜が咲き誇ります。
県東部の「久松公園」は、鳥取城のあった久松山にあり、城跡の桜は圧巻です。
４年前に母の通う介護施設の花見会が「久松公園」であり、和やかな交流の様子が思いだされます。
関西でも、神戸鳥取県人会の花見が「須磨寺公園」であり、毎年みなが俳句を読むことを慣わしとしており、４年前の私の句は「桜咲く 大樹と語る 母白寿」でした。ここ３年は県人会活動を自粛してきましたが、そろそろ活動を再開するなど、元気を生み出す「春よ来い」と願ってやみません。

上口　敦弘さん（鳥取市）

本号に掲載されたコメントへの感想・ご意見を担当迄メールでお寄せください。次号に掲載いたします。
担当：上口敦弘　kamiguchi1944@gmail.com

地球の恵みを、社会の望みに。
エアウォーターアグリ&フーズ株式会社
本社／〒140-0002 東京都品川区東品川４丁目13-14
大山ハムオンラインショッピング ▶ https://www.daisenham.com
※大山ハム(株)の事業はエア・ウォーターアグリ&フーズ(株)に継承されました

あっかるい
オッサンから
「感激」のお福分け
民間企業と女子大、２つの職場で得た
「感動」を綴った85話のエッセイ集
出版いたしました!!
詳細はAmazonで「上口敦弘」を検索

おねがい　鳥取県下各高校の関西地区同窓会や地域の交流会、仲間の集まりなどの情報をお寄せください。
◆記入事項　①開催月日　②場所　③参加者数　④来賓　⑤会合内容・会のふんいき・話題など　⑥次の予定　⑦世話役の連絡先

■リーベルホテル「鳥取県フェア2023」開催

リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ･ジャパン内レストラン「Cafe & Bar LIBER」では、鳥取和牛をはじめとした県食材をふんだんに使用したフェアを開催しています。テイクアウトもありますので是非ご利用ください。

期　間　令和５年３月15日（水）まで
場　所　JR桜島駅すぐ（大阪市此花区）

○ランチ

鳥取和牛のハンバーガー＆ポテトフライ、鳥取和牛ピッツア、鳥取和牛のローストビーフ丼　各種テイクアウトあり。

○ディナー

鳥取和牛をメインとした県産食材を使用した特別コース。

■「ウェルカニとっとり得々割」でおトクに鳥取県を観光しよう！

全国の方を対象に「鳥取県」への旅行・宿泊を「お得」に、また鳥取県電子観光クーポンの取得で、さらに「お得」に満喫いただけるキャンペーン「ウェルカニとっとり得々割」を実施中です。

詳細は、ホームページをご覧ください。

対象期間　令和５年３月31日（金）まで
（4月1日チェックアウト分まで）

関西本部だより

割引内容

区　分	割引率	上限額
交通付き宿泊旅行商品	20%	5,000円
交通なし宿泊旅行商品		3,000円
日帰り旅行商品		

鳥取県電子観光クーポン

	旅行代金(割引前)	クーポン配布額
平日	3,000円以上	2,000円
休日	2,000円以上	1,000円

ホームページ:https://www.tottori-guide.jp/zenkokuwari-tottori/index.html

注意事項

対象期間内であっても、各宿泊施設等において、予算の上限に達した時点で終了となります。

■県産品の通販サイトをご紹介

◆鳥のもの百貨

丸由百貨店（鳥取市）にお店を構える「鳥のもの百貨」が運営する県産品のインターネット販売サイトです。長年愛されている名物から、大切な方に贈りたくなる そんな“鳥のもの”がたくさんそろっています。

ホームページ:https://torinomono.jp/

◆アグリマーケット

鳥取県産のこだわりの農畜産物を取り扱う、JA全農とっとりのショッピングサイトです。果物や野菜、和牛や松葉がになど、旬の農林水産物がそろっています。

ホームページ:https://www.jan-agri.com/

■山陰近畿自動車道「岩美道路」全線開通します

岩美道路の全線開通により、隣接する開通済の東浜居組道路と鬮駛山バイパスとをあわせて福部ICから兵庫県の居組ICまでの15.8㎞が自動車専用道路で繋がります。

開 通 日　令和５年３月12日（日）
開通区間　浦富IC～東浜IC間　L＝3.8㎞

※掲載のイベントについては、新型コロナウイルス感染拡大状況等により、開催中止･延期となる場合があります。

● 因幡伯耆の国　開運８社巡り ●

従来の開運８社に加え、今年の干支にちなんだ神社を巡ります。

「金持（かもち）神社」　「福積（ふくづみ）神社」
「福富（ふくどみ）神社」「富益（とみます）神社」
「福成（ふくなり）神社」「豊榮（とよさか）神社」
「樂樂福（ささふく）神社」
「福榮（ふくさかえ）神社」

今年の干支･兎年にちなんだ**「白兎（はくと）神社」**

白兎神社

● ゴルフ同好会だより ●

ゴルフ同好会主催「22年度秋季ゴルフコンペ」は、11月29日（火）に開催を予定していましたが、参加希望者が少なく、残念ながら中止といたしました。

23年度春季ゴルフコンペは、23年５月に開催を予定しています。

会員動向

現在の会員数300名
（うち夫婦会員34組）

○新入会員（敬称略）

①吉田　美和子（河内長野市）
②本多　由紀子（摂津市）
③作田　恵美子（神戸市）

編集後記

３年ぶりに「新年互礼会」が開催され、また新設した「みんなの広場」に、会員各位から多くの寄稿を頂き、おかげ様で本号は「６面編成」でお届けすることが出来ました。

今後コロナが収束し、同窓会・交流会が再開され、従来の「８面編成」で発行できるように願っています。

「麒麟のまち」情報発信拠点

鳥取県東部・兵庫北部エリアの
料理と地酒を楽しめる店舗です。
地元ならではの魅力的な商品も購入できます。
ぜひお立ち寄りください。

大阪市北区中之島２-３-１８
中之島フェスティバルタワーＢ１
TEL：06-6202-5335
https://kirinnomachi-osaka.jp

会報に関する連絡先　〒658－0014 神戸市東灘区北青木4－1－8－801　大阪鳥取県人会・広報担当　上口（かみぐち）敦弘
TEL＆FAX. 078－411－8083　携帯. 090－6664－2533　E-mail kamiguchi1944@gmail.com